

NO!リニア

No. 7 2

2013年10月31日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

リニアは採算が取れない! 山田社長見解に対して申し入れ!

山田社長が9月および10月の定例記者会見で「リニアだけでは絶対にペイしない。新幹線の収入で建設費を賄って何とかやっていける」と発言しました。この社長発言以降、各メディアからは「仰天発言」などと疑問視する報道がされています。

本日、本部は、「リニア中央新幹線に関する社長発言等に対する申し入れ」(『申第21号』)を提出しました。リニア中央新幹線構想が公表されて以降、JR東海は「経営破綻を招く恐れがあり中止すべき」と訴えてきました。しかし、会社は「バイパスとしてのリニア中央新幹線がなければ経営は成り立たない」という旨の見解を繰り返し、私たちの意見を全く聞き入れませんでした。この見解と記者会見の差はどのようなことでしょうか。会社は、この間拒否し続けてきた労使協議を直ちに開催すべきです。

申し入れは(要点)は以下の通りです。

1. 会社が平成22年5月10日に発表した資料は「東海道新幹線の輸送力の限界」という建設目的が取り下げられている。リニア中央新幹線の建設、運営目的をあらためて明らかにすること。
2. 「設備投資を行い利益を出していく」という、企業としての一般的な目的とは大きく乖離している。会社の見解を明らかにすること。
3. 中央新幹線単独で採算が取れないのならば、会社がすべての建設費を負担して建設する必要性はなく、建設は中止するべきである。会社の見解を明らかにすること。
4. 会社全体の収支を悪化させ、社員の雇用や労働条件、労働環境にも影響を及ぼす。リニア中央新幹線の建設と運営を中止すること。

リニアの申し入れに対する労使協議は1回ポッキリ
労使協議の拒否を許さないぞ!